

こんにちは 議会です

 紀の川市議会だより
平成22年〔2010〕5月1日発行 No.13



- 定例会報告.....P2
- 平成22年度予算.....P2
- 今年度の重点施策.....P4
- 市政を問う（一般質問）.....P10
- 【特集】紀の川市の歴史を散歩 Part6...P18

毎年3月3日の紀の川流し雛
願いを込め、紙雛を川に流します

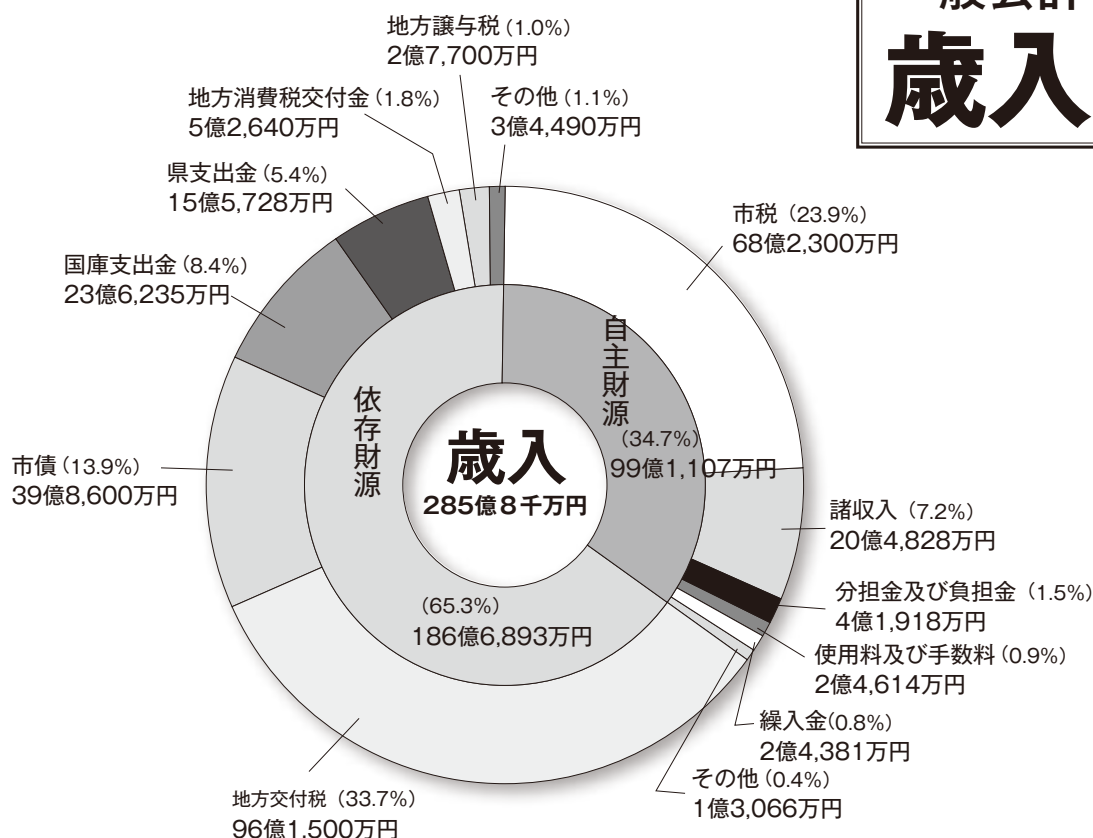
平成22年第1回定例会

平成22年第1回定例会は2月26日から3月24日までの27日間の会期で開かれました。本定例会には82件の議案が提出され、慎重に審議した結果すべて原案どおり承認可決しました。
また、一般質問では9名の議員が登壇し、当面の行政問題をた

円 (前年度比4.9%減)
億6,000万円)

万円 (前年度比0.9%増)
66億7,017万円)

一般会計 歳入



平成22年度一般会計

285億8,000万

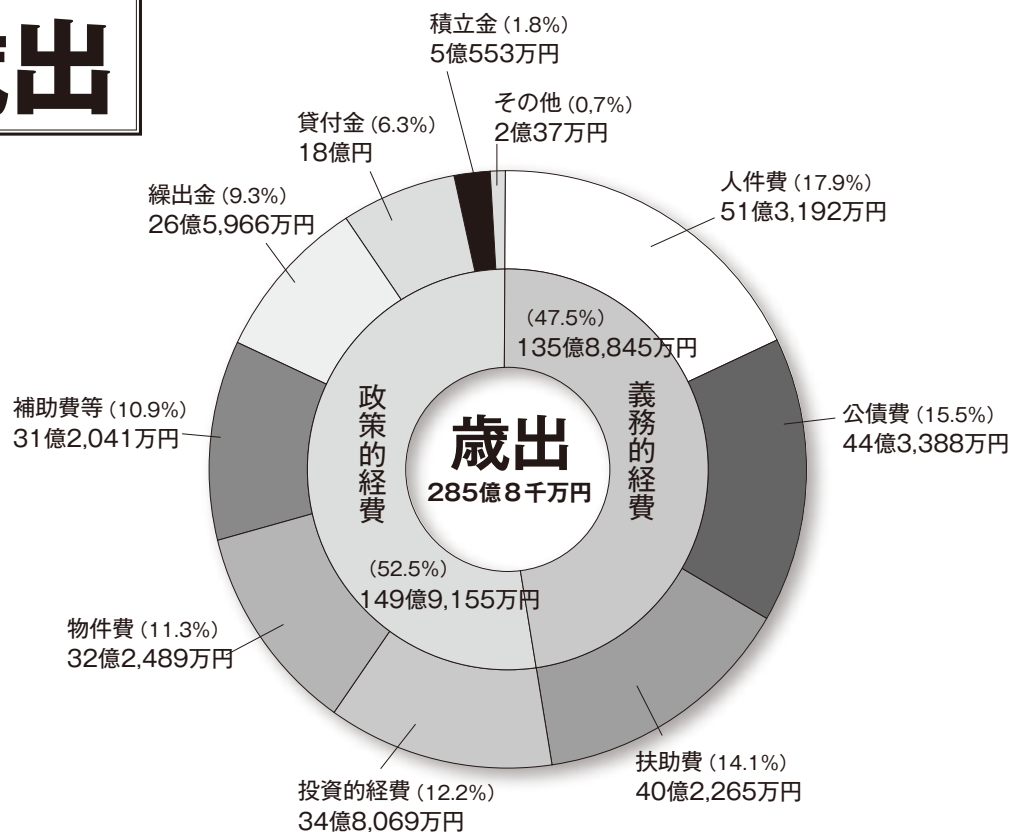
(平成21年度300)

平成22年度特別会計

168億2,477

(平成21年度1)

一般会計 歳出



今年度の重点施策

平成22当初予算は、実効性のある施策の優先的な実施とその土台となる行財政改革への取り組みを強化し、中長期的な展望に立った財政計画に基づき、限られた財源の中で、直面する諸課題に対応するという基本姿勢を堅持した予算編成となっています。

一般会計については、平成21年度と比較して、14億8千万円の減(△4.9%)となっていますが、大きな要因は安楽川小学校・名手小学校改築工事をはじめとする大型建設事業が完了したためです。

事業の大きな柱は5つ

- ① 安全・安心なまちづくり
- ② 少子高齢化対策
- ③ 農業・産業の活性化対策
- ④ 緊急雇用対策
- ⑤ 新庁舎建設事業

市内南部の安心拠点

① 安全・安心なまちづくり

○那賀消防組合南消防署
新築移転事業
〔5千52万6千円〕
老朽化が激しく耐震強度も不足しており、また、敷地の半分以上が借地である上、狭小なために緊急出動や訓練等に支障を来しているため、災害時の消防防災活動の拠点となるため消防署の新築移転事業を行い、平成23年度末完成を目指します。

文化財防火訓練



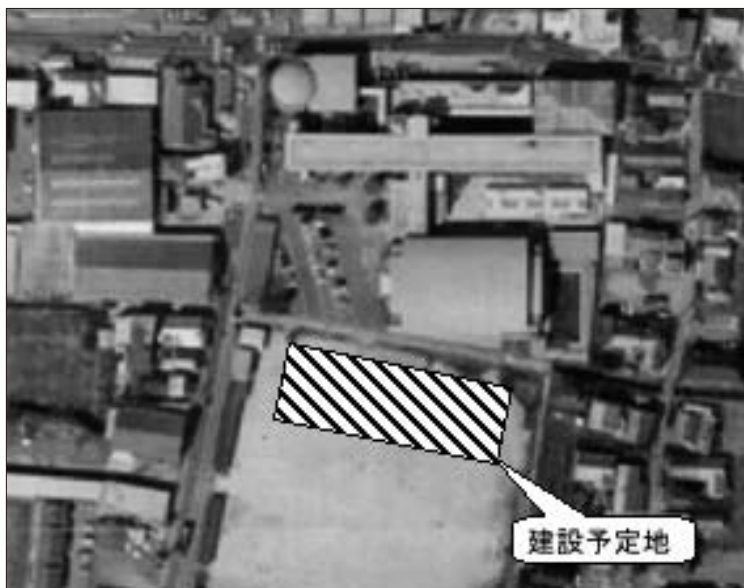
改築進む 粉中移転には反対意見も

○打田中学校校舍改築事業（建築工事）
〔6億7千4万6千円〕

○粉河中学校校舍等改築事業（用地造成工事）
〔1億56万1千円〕

老朽化が著しく耐震性も低いことから、地震災害等に備え良好な教育環

境はもちろんのこと、生徒の安全・安心を確保するとともに地域住民の防災拠点施設の充実を図るため、打田中学校については改築工事を、粉河中学校については用地造成工事を行ないます。



打田中学校建設予定地



華岡青洲
1760～1835



ピンクリボン
キャンペーンバッジ

乳がん検診

受診率アップ

○ピンクリボンキャンペーン事業
〔902万円〕

乳がんの早期発見のため公立那賀病院と連携し、35歳から39歳の方に対し超音波検診、40歳から59歳の方にマンモグラフィ検診の受診を推進します。

○華岡青洲生誕記念補助事業
〔300万円〕

今年は、華岡青洲生誕250年となることから、青洲先生の偉業を後世に伝えるために記念事業を実施します。

全保育所に AED設置

○AED（自動体外式除細動器）設置事業（303万8千円）
心肺停止等による突然死から、園児の生命の安全を確保するためにAEDを市内の全保育所に設置します。
小児（8歳以下）にも使用できます。（写真は、現在市役所に設置しているものです。）



AED

簡易水道充実へ

○簡易水道事業の施設整備事業（西川原・黒川簡易水道）
〔1千972万5千円〕

（西川原簡易水道）上水道への統合整備工事実施設計業務および配水池施設・中継ポンプ施設用地を購入します。

（黒川簡易水道）下瀬畑畑野地区への配管延長工事実施設計業務を行います。

② 少子高齢化対策

○子ども医療費助成事業

〔1億3千682万円〕

今までは小学校入学前の子どもが対象であった医療費の助成を小学校卒業までに拡大します。

疾病の早期発見・早期治療を促進し、子育てに伴う保護者の経済的負担を軽減します。

○高齢者紙おむつ助成事業

〔1千903万8千円〕

○緊急通報装置貸与事業

〔1千738万8千円〕

○家族介護慰労事業

〔580万円〕

高齢者福祉については、高齢者が心身ともに健康でいきいきとした生活ができるよう、生活機能が低下するおそれのある高齢者の早期把握に努め、介護予防の推進を図ります。具体的には、高齢者紙お

むつ助成事業では現在の対象者に加えて、おむつ代を自己負担しなければならぬ入院中の方や、介護保険制度適用外の有料老人ホーム、グループホーム等の施設入所者の方にも適用を拡大するほか、「緊急通報装置貸与事業」、「家族介護慰労事業」も現在の制度を拡大し、高齢福祉対策として充実します。



③ 農業・産業活性化対策

企業誘致造成工事へ

○土地開発公社事業費補助事業

〔3億5千万円〕

○企業誘致啓発事業

〔156万4千円〕

産業振興については、平成20年度から「北勢田第2工業団地開発事業」として事業展開を行い、産業の振興と地元雇用の拡大を図り地域の活性化を目指し平成22年度は引き続き実施設計を行い、続いて造成工事に着手し、平成24年3月の完成を目指しています。

また、平成22年度から企業用地の啓発と優良企業の誘致を目的に「企業誘致啓発事業」に取り掛かり、京奈和自動車道打田ICと連絡するという立地条件の良さをアピールし、造成後の早期完売を目指します。

ほ場整備進む

○県営中山間総合整備事業

業（北山地区）

〔2千782万6千円〕

市の基幹産業が農業であることから、安全・安心な農産物を生産するために農業基盤を整備するもので、平成20年度から平成25年度まで実施します。



ほ場整備工事（北山地区）

④ 緊急雇用対策

緊急雇用創出事業

○耕作放棄地保全管理促進事業〔65万円〕

農業従事者の高齢化および担い手不足により、耕作放棄地が増加している現状をシルバー人材センターによる臨時的な雇用および就業の機会を創出することにより解消を図ります。

○都市公園点検・清掃等調査事業

〔552万9千円〕

市内の都市公園の施設点検・清掃等の保守業務を行うことで、安全で快適な公園を維持します。

○河川環境保全事業

〔1千500万円〕

市内の1級・2級・準用河川の除草および雑木の伐採や清掃をして、生活環境と景観の保全を行います。



河川敷除草作業

⑤ 新庁舎建設事業

○新庁舎建設事業

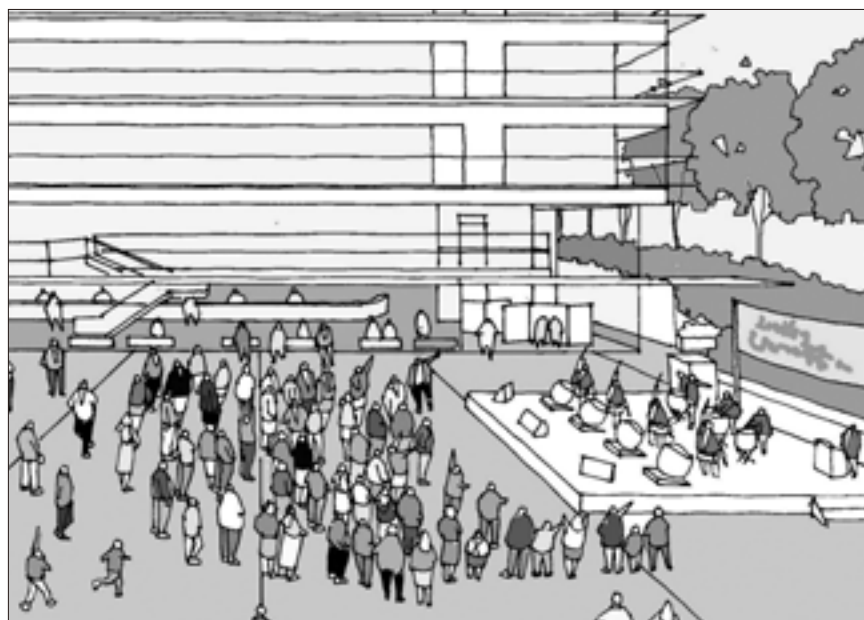
〔3億410万円〕

現在、各支所に分散されている部局を本庁に集約します。

贅沢で豪華な庁舎は必要ありませんが、合併特例債の適用期限内に最小の経費で、市民サービスの充実を図ることができ、また、大規模な地震等の災害が発生したときに、防災拠点の役割が十分果たせるような庁舎建設を進めていきます。

市民が集うエコ庁舎に

また、環境に配慮したエコ庁舎を目指し、雨水利用、太陽光発電、自然換気など自然エネルギーを積極的に活用することにより、光熱水費を削減し、ライフサイクルコストを削減します。



平成21年度の基本設計・実施設計を受けて、本年度は、北別館の取り壊し解体工事および駐車場整備を実施し、平成23年度には新庁舎建設工事にとりかかり、平成24年12月完成、平成25年1月から新庁舎での業務をはじめます。

一般会計予算を家計に置き換えると

収入総額 500万円 (285億8,000万円)

給料 168万円 **33.6%** (96億1,725万円)

市税、分担金、使用料、諸収入など (税金や施設の使用料など)

貯金の取り崩し 4万円 **0.8%** (2億4,381万円)

繰入金 (基金や特別会計から受け入れたお金)

親からの仕送り 188万円 **37.6%** (107億6,330万円)

地方交付税、地方譲与税など (国や県から交付されるお金)

親からの特別援助 69万円 **13.8%** (39億1,963万円)

国・県支出金 (特定の目的のために、国や県が支出するお金)

借入金 70万円 **14%** (39億8,600万円)

市債 (市が長期間借り入れるお金)

その他 1万円 **0.2%** (5,001万円)

繰越金 (前の年にあまったお金)



支出総額 500万円 (285億8,000万円)

食費 90万円 **18%** (51億3,192万円)

人件費 (職員に対しての給料や退職手当など)

医療介護費 70万円 **14%** (40億2,265万円)

扶助費 (高齢者や障害者、子どもの福祉等にかかるお金)

借金の返済 78万円 **15.6%** (44億3,388万円)

公債費 (市債の元金及び利子の支払いにかかるお金)

光熱水費等 56万円 **11.2%** (32億2,489万円)

物件費 (旅費、消耗品、燃料費、委託料等にかかるお金)

自宅の増改築・補修費 64万円 **12.8%** (36億3,123万円)

普通建築事業費、維持補修費など (道路や学校など施設の新増設や補修にかかるお金)

子どもへの仕送り 47万円 **9.4%** (26億5,966万円)

繰出金 (一般会計から特別会計へ支出するお金)

友人への援助 86万円 **17.2%** (49億2,041万円)

補助費等、貸付金など (補助金や市が貸付けるお金など)

貯金 8万円 **1.6%** (5億553万円)

積立金 (基金に積み立てるお金)

その他 1万円 **0.2%** (4,983万円)

予備費 (思わぬ支払に備えるお金)

市の予算は金額が大きくピンとこない、言葉も専門的でよくわからないということをよくお聞きします。そこで平成22年度一般会計予算を収入500万円の家庭に置き換えてみました。

紀の川さん宅の家計 (市の会計) は給料 (市税) は減少していますが、家 (公共施設) の傷んだ箇所の改築や子どもへの仕送り (特別会計への支出) をしなければいけないため、両親 (国・県) からの援助頼みで生活を営んでいます。

借金の返済 (公債費) もあり、食費 (人件費) や友人への援助 (補助金) を切り詰めています。

依然厳しい家計ではありますが、楽しい生活をおくれるよう計画をたてて、前向きに頑張っています。



[単位：千円]

区 分		18年度予算額	22年度予算額	増減率
住宅新築資金等貸付事業特別会計		148,800	41,300	－72.2%
土地取得事業特別会計		400	2300	475.0%
国民健康保険事業勘定特別会計		6,444,000	7,718,000	19.8%
国民健康保険直営診療施設勘定特別会計		73,600	78,500	6.7%
老人保健特別会計		7,497,000	1,000	制度改正で減
後期高齢者医療特別会計		0	1,367,000	新規制度
介護保険事業勘定特別会計		4,948,000	5,240,000	5.9%
公共下水道事業特別会計		1,729,200	2,040,000	18.0%
特定環境保全公共下水道事業特別会計		55,800	48,300	－13.4%
農業集落排水事業特別会計		31,300	23,800	－24.0%
善田農業集落排水事業特別会計		41,900	112,900	169.5%
簡易水道事業特別会計		0	134,000	新会計
高野・五百谷簡易水道事業特別会計		4,900	0	簡易水道ひとつに
荒見簡易水道事業特別会計		28,400	0	簡易水道ひとつに
麻生津簡易水道事業特別会計		61,700	0	簡易水道ひとつに
西脇簡易水道事業特別会計		7,300	0	平成19年度末統合
善田・大原簡易水道事業特別会計		8,400	0	簡易水道ひとつに
黒川簡易水道事業特別会計		8,800	0	簡易水道ひとつに
野田原・脇谷簡易水道事業特別会計		11,500	0	簡易水道ひとつに
水道事業会計	収益的支出	1,395,218	1,375,809	－1.4%
	資本的支出	640,966	805,448	25.7%
工業用水道事業会計	収益的支出	26,124	23,490	－10.1%
	資本的支出	7,237	240,650	3225.3%

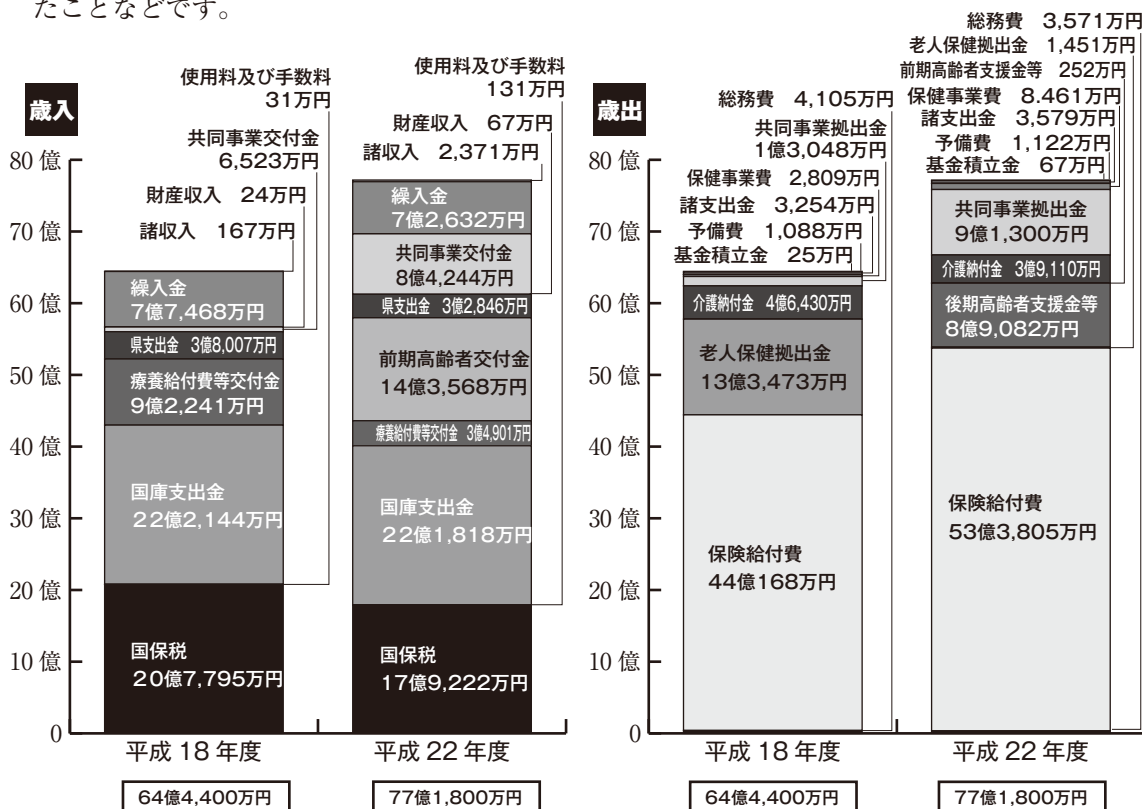
※財産区特別会計をのぞく

* この会計に注目！国民健康保険

このうち、国民健康保険事業勘定特別会計について内訳の増減をグラフにしました。

今年度の国保事業勘定特別会計予算は、77億1,800万円であり18年度（64億4,400万円）に比べ、19.8%の増加となっています。

増額の主な要因は、医療の高度化で費用がかかるようになったことによる保険給付の増加、国民健康保険団体連合会が実施主体となり都道府県単位で行う共同事業にかかる費用が増えたことなどです。



平成22年度と合併直後の平成18年度の予算を比較すると、このような変化がありました。

特別会計

いっぱん質問

市政を問う

寺西 健次 議員

- 高齢化社会への対応について

田代 範義 議員

- ゴミの収集について
- 国体競技の受け入れについて

川原 一泰 議員

- 企業誘致について
- 柑橘類の最低価格補償について

岡田 勉 議員

- 若者の定住対策について

阪中 晃 議員

- 小・中学生の学力向上について

高田 英亮 議員

- 各施設（生涯学習施設・スポーツ施設）の充実を
- 二学期制について

今西 敏文 議員

- 農家への支援策について
- 鳥獣害対策について

吉田隆三郎 議員

- 住宅建築、リフォームの補助制度について
- 地区集会所整備事業の改善について

石井 仁 議員

- 「子どもの貧困」と子育て支援について

一般質問の内容については、要旨のみ掲載しています。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので市議会事務局議事調査課までお問い合わせください。（TEL 77-0892）



寺西 健次 議員

現在、16施設、627床の介護施設があるが、常に

答 保健福祉部長

問 介護施設、特に特別養護老人ホームへの入所は難しい。そのようなことから介護施設の実状と今後の考えは。

答 保健福祉部長
立て替え払いをなくし、かかった費用の1割だけを支払えばよい事となった。月平均30件程度の利用が見込まれる。

介護施設の拡充を

問 介護保険制度で、「福祉用具購入」や「住宅改修」が4月から受領委任払い制度となり、関係者に喜ばれている。利用度はどれくらいあるのか。

満床で待機者も多い。そこで特別養護老人ホームの新設を平成24年度開設に向けて取り組んでいる。

答 市長

安心して老後を楽しく暮らしていただくためには施設が足りない。国の動向を見ながら施設の拡充を図りたい。

運行要望 多いバス

問

地域巡回バスのバス停がわかりにくいとか、バス停の路線図等の字が小さく見づらいと、高齢者より指摘があるが。

答 企画部長

バス会社と相談してわかりやすいバス停になるよう検討したい。また、高齢者の目線に合わせた路線図等のパンフレットを作成しているので参考にしたい。



地域巡回バス

答 企画部長
隔々までの運行は困難であるが、中山間地域への運行については予約制で需要に応じて運行するデマンド型バスが有効であり、導入については検討していきたい。

困っている 粗大ごみ

問 地区別で粗大ごみの収集を実施する考えは。

答 市長・市民部長

地区別一斉回収では、一度に多量の粗大ごみが出され、既存施設では処理に時間がかかり、そのために数日間におよび集積場の借上げが必要となる。市政懇談会や区長会からも要望があるが、業者に委託すれば多額の処理費用がかかり、地区別一斉回収の方法での実施は難しいと考えている。また、市民の皆様にも協力を得なければならぬと思う。何もかも市の責任でしづらいと言ったのでは難しいのではないかと。

なエリア（たとえば区単位で巡回して回収する方法）等で計画的に実施すれば経費もかからないが、各区長の協力が不可欠であり十分相談をし検討を重ねたい。



平成18年の粗大ごみ回収現場

国体を成功させよう

問

平成27年に開催される和歌山国体の進捗状況は。

答 教育部長

平成20年3月にソフトボール、ハンドボール、サッカーの3種目の受け入れを県に報告し、21年3月に1

次選定通知を受けた。21年7月、8月に中央競技

団体の視察を受け施設の改善点の要望を受けた。23年度に県として国へ本申請を出す予定であり、市としては県の動向を見ながら施設整備や受け入れ準備、輸送計画、市のPR等については今後の課題と考えている。

また、国体開催後は市民の皆様にも有効に活用していただく施設として整備していきたい。



川原 一泰 議員

工業団地 造成の進捗は

問

北勢田第2工業団地造成事業の進捗状況は。

答

企画部長

開発全体面積約12万㎡に対し、工業団地約7万6千㎡、うち平地面積約5万1千㎡を目標に一区画の平地面積1万㎡前後の用地を五区画程度造成する。設計コンサルにより現地調査、地形測量を完了し、全体の基本計画を策定して平成23年完成予定。

問

企業誘致の見込みは。

答

企画部長

工業団地完成後の早期の企業進出を図るため啓発関連資料として、平

成22年度より新たに工業団地完成パース図、優遇制度、インフラ整備の状況等を記載したリーフレットを作成し、企業立地促進機関や企業の動向情報を豊富に持つメガバンクの意見を聞き、京阪神を中心に企業誘致活動をする。

問

京奈和自動車道打田インターからの紀の川関空連絡道路の進捗状況は。

答

建設部長

京奈和自動車道は平成27年完成予定。紀の川関空連絡道路は国交省から800万円の調査費が付いて今進行中である。



京奈和自動車道建設現場

果樹・野菜にも価格補償を

問

果樹・野菜の最低価格の補償と戸別所得補償制度について、紀の川市から国に対し、原価割れの年だけでも対象にすべく要望をするべきだと思いませんか。

答

市長・農林商工部長

戸別所得補償モデル対策が平成22年から始まる。米のモデル事業5千618億円、自給率向上事業2千167億円。後者の方は水田転作の果樹、野菜、花き等対象になる可能性がある。それと果樹野菜農家の所得を補償する共済制度の創設等の検討が政府でされるよう、県やJA、農業共済組合と連携して市内の果樹野菜農家が安心して農業に取り組める仕組み作りを政府や県に必ず要望していきたい。



岡田 勉 議員

就職が大変 行政の支援を

問

全国の今春卒業予定の高校生の昨年12月末の就職内定率は74.8%で、前年同時期比7.5%低く、この時期としては過去最大の下げ幅になった。本県の内定率は68%で、大変厳しい状況になっている。

問

高齢化社会を支える介護や、医療にたずさわる人材を育成していくためにも奨学金制度を設けて支援していく必要があると考えるが。

答

市長

家庭の状況等で進学できないという方々のためにも大きな問題である。今後は県とも充分相談しながら市なりの対応も考え検討したい。

問

学生にとっては、就職というのは人生の中でも大変重要な時期だ。50人弱の臨時雇用予定の中に

臨時雇用など13事業で50人弱を雇用する予定である。この事業は、新卒者を対象にするのではないが深刻化する雇用状況に一定の効果があるものと考えている。

答

農林商工部長

紀の川市で育ち、市内で働いてもらうという意味でも非常に重要な時期だということは指摘の通りだと考えている。新卒者に対しての対応についても何らかの措置を講じられないものか関係課と協議をしたい。

将来の人材育成を



和歌山県若年者就職支援センター

答

農林商工部長

市では県の基金事業で、

子どもの 学力向上

問

学校教育において、4年前に答弁された「学力向上が一番」これに変わりはしないか。

答

教育長

学力向上が一番として、いることには4年前と変わりはない。

問

一期を終え、4年前より小中学校の学力は向上したのか。

答

教育長

平成21年度においては、小学校は和歌山県の平均を上回るようになった。中学校においては県平均に近づいており、生徒の学力向上が見られる。



阪中 晃 議員

問

気象状況や新型インフルエンザで冬休みに授業した。十分な授業時間の確保が子ども達に必要、特に中学校においては貴志中、荒中が冷暖房完備

がんばれ子どもたち

(市内生徒数の約半数)、また2年後には粉中、打中も完備されるのだから、計画をもつて夏休みの短縮を考えては。

答

教育長

長期休業時間を短縮しての授業時間の確保は、冷暖房完備など教育環境がそれぞれ

異なるため、現在では考えていない。しかし、指導要領の改訂での授業時間の大幅な増、学習内容も増える中、今後の学習状況の推移を見守り、「紀の川市立学校管理規則」の変更を判断していきたい。



問

2期目に入る教育長、今後4年のビジョンは。

答

教育長

数年後の子どもの姿や将来のあるべき姿を思い浮かべながら、豊かな自然環境のもと豊かな人間関係をつなぐ「豊かな心」の育成を基本理念として、一期目の教育方針を受けて、さらに発展深化させたい。

施設を充実して

問

市民が利用しやすい生涯学習施設の充実。

答

教育部長

市民が安全で安心して利用できるスポーツ施設の充実。

問

昭和40年代に整備された施設がほとんどであり、市民のスポーツ環境整備の観点から修繕改修を行っている。今後、整備を行い、皆様に安全に利用いただけるように最善の

答

教育部長・教育部長

市民が安全で安心して利用できるスポーツ施設の充実。



高田 英亮 議員

整備と利用促進を

努力をしていく。

問

日本陸連公認第3種陸上競技場でもある桃源郷運動公園、硬式野球のきる紀北筋に唯一の球場、貴志川スポーツ公園野球場の整備充実と、平日の利用促進のため、合宿誘致は。

答

教育部長

交付金事業で施設を整備し利用促進を図っていく。貴志川野球場については外野フェンスの整備、内野グラウンドの整備等を進めていく。整備の完了により施設の利用者が増え、大学や企業のチームが当市で練習、合宿をしていただくことにより、地域の活性化につながるよう前向きに取り組んでいく。

答

市長・教育部長

交付金事業で施設を整備し利用促進を図っていく。貴志川野球場については外野フェンスの整備、内野グラウンドの整備等を進めていく。整備の完了により施設の利用者が増え、大学や企業のチームが当市で練習、合宿をしていただくことにより、地域の活性化につながるよう前向きに取り組んでいく。



整備される貴志川野球場

二学期制導入後、授業時間の確保などの点で一定の成果が出ている。23年度・24年度で新学習指導要領の改訂が実施されるなかで、子どもたちの学力向上と人間力向上につながるよう早期に検証を行い、方針を決めたい。



今西 敏文 議員

農家の 緊急支援策は

問

昨年夏から続く、果樹・野菜の安値により、肥料農薬代が払えない状況である。市の基幹産業である農家への緊急支援はできないか。

答 市長・農林商工部長

市産の農産物の販売価格が、低迷を続けている中、農業の振興を図ることから、緊急的な支援資金を含め今後、県、JA紀の里と協議し様々な手段を検討していきたい。

県下最悪の 鳥獣被害

問

市の有害鳥獣被害は県下1位の7千万円となりまだまだ増えることが心配される。今後、市の猟友会の対応、電気柵の奨励、ハザードマップ作成や野生鳥獣のすみかとなつている放棄地対策など、総合的な対策は。

答 農林商工部長

猟友会については、鉄砲やわなで捕獲する役割があり、補助金を増額するなど支援を行い、会員の高齢化の対応として、

農家や市の職員を含め広範囲な人材確保を検討していく。

電気柵等の被害防止対策については、今後とも市単独補助や県補助などで対応し、また集落単位での取り組みにも積極的に支援していきたい。

鳥獣のハザードマップ作成は、本年度「鳥獣被害防止対策事業」の中で対応を検討していきたい。耕作放棄地を含め、鳥獣被害対策については、

集落単位での取り組みが基本となるので、本年度予算において、定額の市単独補助を用意し、集落単位での取り組みをお願いしていく。



収穫されないみかん畑



吉田隆三郎 議員

定住を促す 住宅政策を

問

高齢者や障害者が、安全で安心して住める住宅、若者や子育て世帯が、定住できる環境、災害に強い住宅の整備が大切だ。

木造住宅の耐震改修が少なく、補助が少ない事が関係しているのではないか。

答 建設部長

木造住宅の耐震改修事業は、昭和56年5月31日以前の建物対象で、耐震診断を実施している。国の基準で、倒壊の危険度の高い住宅に対し、耐震改修を推奨し、工事費が90万円以上に対し、60万円と、さらに11.5%の国費の上乗せ補助がある。

問

新築、リフォーム、耐震化を総合的に考え、市内業者が請け負った場合を条件として、市独自の補助制度を設けてはどうか。

答 建設部長

市独自の補助制度創設は、地域経済効果、定住促進に継がれることは理解するが、財政状況を踏まえて研究していきたい。

答 市長

今、公共施設、学校、池、道路、河川が災害に対し、安全であることを優先して取り組んでいる。住宅を建て、定住を促進する住宅政策は、紀の川市づくりに欠かせない問題と承知している。

問

自治会館や地区集会所は、耐震化の必要性と、公共下水道への接続等の改修は避けられない。

答 地域振興部長

地元負担の軽減を

もあり、補助の見直しはできないか。

答 地域振興部長

地区集会所の耐震診断・耐震補強が進んでいない現状だ。対応策と共に制度全体の再点検が必要と考えている。

答 市長

安全な建物として、地域で工夫されてきたが、諸般の事情から、制度の見直しを検討していく。



地区の財産（名手上集会所）



石井 仁 議員

地方行政は、貧困率に関係なく、どんな状況下でも、家族から見放されかけている子どもがあらば、いろいろな側面から地域の方々の協力もいたさながら、「子どもの権利」を守っていかなくてはならない責務があると考えている。

答

保健福祉部長

「子どもの貧困」をどう認識し、本市に暮らす子どもたちの貧困の現状をどう捉えているのか。

子どもの貧困解消を

問

格差と貧困の拡大が大きな問題になり、厚労省の発表によると、子どもの七人に一人が貧困状態にあり、ひとり親世帯の貧困率が非常に高いのが特徴となっている。

問

保育所民営化検討なぜ

現在、保育所のあり方について、どういう検討がされているのか。

答

保健福祉部長

本年1月に「公立保育所のあり方検討委員会」を設置して、現在おこなっている公立保育所の状況や、人口、児童数の推移、保育ニーズの変化、財政状況、あるいは職員適正化計画の状況を説明し、今後の保育所のあり方を検討していただいている。

問

今必要なのは、財源論・コスト論からのあり方の検討ではなく、保護者の保育ニーズをつかむとともに、子どもを取り巻く今の環境の中で、公立保育所のこれまでの保育実践の到達と今後の課題を明らかにし、市として努力していくことだと考え



る。保育所の民営化の議論を今の段階でするべきではないと思うが、どうか。

答

市長

何も今すぐに民営化していくということではないわけで、統合、見直しの中で民営化も考えていくということである。

紀の川市は、紀の川の清流と豊かな自然にはぐくまれたまちです。私たちは、先人が築いてくれた歴史・文化を尊び、新しい時代にあった暮らしと文化を創造するとともに、活気に満ちた紀の川市の実現をめざして、この憲章を定めます。

紀の川市民憲章

- 一、ふるさとを愛し、教養を高め、新しい文化をつくります。
- 一、人権を尊重し、思いやり、たすけあい、笑顔とあいさつで和を広めます。
- 一、働くことに喜びを感じ、生きがいと希望に満ちた未来をひらきます。
- 一、趣味やスポーツを楽しみ、健康で、明るい家庭をつくります。
- 一、感謝と奉仕の気持ちを大切にします。

平成21年度一般会計補正予算(第7・8号)

子ども手当支給へ

子ども手当の支給（6月より）に対応するため、システムの改修を行います。（600万円）



きめ細かな事業を

国より「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を受け、次の事業を行います。

○JR和歌山線利便性向上事業（1千680万円）

打田駅に南口の設置、紀伊長田駅、名手駅の駐輪場の整備を行います。

○三谷児童館改修事業（980万4千円）

三谷児童館の雨漏り修繕を行います。

○市道維持修繕事業（1億円）

交通の安全と快適性を保つため、重点箇所から修繕を行います。

○公共下水道接続事業（4千191万6千円）

河川等の水質改善を図るため、公共下水道供用開始地域内にある公共施設の接続を推進します。

○青洲の里整備事業（3千570万円）

階段・遊歩道の改修や障害者トイレの設置などを行います。

○市道新設改良事業（5千万円）

地元要望が出されている集落内道路について、優先度の高い箇所から整備を推進します。

対象施設

荒川中学校、丸栖小学校、丸栖保育所、丸栖児童施設など

立石川（粉河地区）の水路拡幅改良及び管理道の整備を行います。

○小規模土地改良事業（8千万円）

○生涯スポーツ施設整備事業（1千800万円）

貴志川スポーツ公園野球場の外野フェンス・内野グラウンドの整備を行います

○保育所改修事業（750万円）

こばと保育所の雨漏り修繕、なるき保育所の外壁改修を行います。

○林道整備事業（3千200万円）

林道粉河中央線において、崩落等が予想される危険箇所（3箇所）の整備を行います。

平成21年 請願第3号 後期高齢者医療制度の廃止を求める 請願書 [不採択（賛成少数）]	平成21年 請願第4号 後期高齢者医療制度をただちに廃止 することを求める 意見書採択につい ての請願書 [不採択（賛成少数）]	平成22年 請願第1号 「選択的夫婦別姓 を認める民法の一 部改正」に反対を 求める意見書提出 に関する請願 [継続審査]
--	--	--

議会事務局 機構改革

4月1日付けで機構改革を行い、議会総務課と議事調査課の2課が議事調査課にまとめられました。

事務局職員の異動は下記のとおりです。

転入

○中野 朋哉 議会事務局議事調査課主幹（総務部危機管理消防課主幹）

転出

○矢田 知大 企画部政策調整課主幹（議会事務局議事調査課課長補佐）

○吉田 敦 建設部地籍調査課係長（議会事務局議会総務課係長）

募集中

あなたのお店を「広報紀の川」と
「紀の川市ホームページ」で
広告しませんか？（有料）

【問合せ】紀の川市広報広聴課（TEL77-2511 本庁）

歴史を散歩 Part6

卍 十禅律院

十禅律院塗上門と本堂



和泉山脈の借景が美しい洗心庭

- 松尾芭蕉句碑
- 地蔵堂

卍 粉河寺本堂



額は徳川治宝の直筆

原粉河線

今回は粉河寺と十禅律院を訪れました。
この二つのお寺には有名な石庭がある
ことをご存じですか？

じゅうぜんりつゐん 十禅律院

粉河寺の北東隣接地にあり、創立は990年ごろと伝えられるが、1829年～1844年ごろに紀州藩の援助を得て現在の寺観が整った。十代藩主徳川治宝^{はるとみ}の指示で作られ、和泉山脈を借景とした枯山水式庭園「洗心庭」は繊細優美である。本尊は阿弥陀如来三尊像。毎年旧仲秋の名月の日（今年は9月22日）に、喘息封じの「糸瓜加持^{へちまか}」を行い、多くの人が祈祷に訪れる。

ゆるやかな石段を登り白く美しい塗上門をくぐると、静かなたたずまいの寺院がある。庫裏で案内を請うと、御成りの間とその奥の洗心庭を見せていただける。

粉河寺

奈良時代の末、大伴^{おほともく}孔子古^{しこ}の創建とされる。豊臣秀吉の焼き討ち、1713年の火災による焼失にあうが、本堂、千手堂、中門、大門など壮大な伽藍^{がらん}が復興された。建物、庭の多くが貴重な文化財である。紀州の名石を組み、サツキ、ソテツを巧みに配した豪快な枯山水庭園は桃山時代の石庭。庭を散策し、本堂に参拝すると、不思議と心が休まるのを感じる。

西国三十三箇所観音霊場第三番札所として全国的に名高く、多くの巡拝者が訪れる。JR粉河駅から大門までの商店街や門内の茶店では、あたたかい笑顔で訪れた客をもてなしてくれる。

年中行事

初詣（1/1～14）
節分会
流し雛（3/3）
初午会（旧初午の日）
施餓鬼会（せがきえ）（8/9）
送り火（8/15）
童男会（12/18）
ご本尊千手観音の化身、童男行者のお姿が拝されます。

文化財

国宝
紙本 著色 粉河寺縁起（鎌倉時代初期）
重要文化財
本堂・千手堂・大門・中門（江戸時代）
国指定名勝 粉河寺庭園

特 集

紀の川市の

至中津川地区



桃山時代の石組み、粉河寺庭園と本堂

行者所

粉河産土神社

粉河

粉河寺庭園

若山牧水歌碑

放生池

太子堂

露座佛

念仏堂場

出現池

童男堂

本坊

羅漢堂

子育て地藏尊

不動堂

中門

長屋川

円解院

P

大門

大門橋

中津川

県道粉河加太線

P

至JR粉河駅

県道西川



粉河寺縁起絵巻に登場する童男行者を祀る童男堂



1832年建立の中門、「風猛山」の扁

皆様の幸せを願って



桃源郷ハーフマラソン



名手川に鯉のぼり



入学式 (東貴志小学校)



「いい子でがんばります」と入学の誓い
 (東貴志・丹生神社)



編集後記

昨年の国の政権交代後、また、紀の川市議会改選後初の当初予算編成となりました。平成22年度一般会計予算審議を中心とした3月定例会も終了しました。

学校の建て替え、橋梁の耐震検査など、市が進める「安全・安心のまちづくり」を柱とした予算案を可決しました。

市の財政は依然厳しい状況であり、議会としても行政のチェック機関としての機能を十分に発揮してまいります。

4月26日には京都府舞鶴市議会広報編集委員が当市を訪れ、紙面づくりについて一緒に研修を行いました。

ともに皆様に親しまれる議会だよりを目指してまいります。

(Y・E)

